



カナダ・アルバータ大学の語学研修 [関連記事4ページ]

薬剤師支援センターが『生涯研修認定制度認証機関』として認証されました。

薬剤師支援センター長 唯野 貢司



本学は、平成23年3月25日付けで薬剤師認定制度認証機構より「生涯研修認定制度認証機関(プロバイダー) 認証番号:G14」として認証されました。全国では薬剤師研修センターをはじめとする15団体が認証を受けており、これらのプロバイダーが設定する生涯研修認定制度は全て同列の認定として扱われ、どのプロバイダーにも認定証の申請が可能です。

本学は、これまでNICEセンターを中心に各学部が連携して全学的に医療人の生涯教育に取り組んできました。新たに発足した「北海道医療大学 薬剤師支援センター」では、これまで培ってきた生涯教育の実績を基に「北海道医療大学 認定薬剤師研修制度」を立ち上げ、自己研鑽による職能の向上を目指す薬剤師を対象に薬剤師研修講座を開講いたします。本研修制度は、生涯研修により得られた成果と実績を客観的に証明し(認定薬剤師証の交付)、医療人として生涯学習を通して常に自己研鑽に努めている薬剤師であることを認定するものです。

平成23年度卒業生より6年制の薬剤師が誕生す

ることとなります。このような背景から、薬剤師には高度の専門性を発揮しながら医薬品の有効性と安全性の確保に貢献し、同時に生涯にわたり高度な知識・技術を維持していくことが求められており、薬系大学には医療現場の薬剤師に生涯学習の機会を提供し、自己研鑽による知識や技術の維持・向上を支援していく責務があります。

既にいくつかの研修講座が開講されていますが、今後は現場の要望に応じた新しい講座を提供していく予定です。是非ご参加ください。

平成23年度開講もしくは開講予定の講座は以下の通りです。

- 開講中:漢方・薬用植物研究講座、医療薬学セミナー、がん専門薬剤師養成基礎講座など
- 開講予定:臨床薬学講座、地域医療講座など



CONTENTS

薬剤師支援センターが『生涯研修認定制度認証機関』として認証されました。	1
新任教員・昇任教員紹介 Student Campus President 決定!	2
歯科医療最前線	3
カナダ・アルバータ大学 語学研修レポート	4
2011年度「FD研修」を開催 学生支援推進プログラム特別キャリアデザイン講座 薬学生セミナー開催	5
2012年度入試概要	6
2012年度編入学試験概要 2012年度大学院入学試験概要	7
授業レポート	8
私の学生時代	9
OG訪問[看護福祉学部看護学科]	10
STUDENTS' ACTIVITIES & EVENTS	11
TOPICS ○学校法人東日本学園後援会支部長会議 EDITOR'S NOTE	12

新任教員・昇任教員等紹介

新任教員

平成23年7月1日付
看護福祉学部助教
(看護学科 地域保健看護学)

中村 由香里

昇任教員

平成23年7月1日付



薬学部教授
(薬剤学)

小林 道也
(こばやし みちや)

PROFILE

北海道大学薬学部卒業。同大学院薬学研究科修士課程修了。北海道大学医学部附属病院薬剤部医薬品情報室長、試験研究室長、本学薬学部准教授等を経て、教授就任。薬学博士。



薬学部教授
(薬学教育支援室)

吉村 昭毅
(よしもら てるき)

PROFILE

北海道大学薬学部卒業。同大学院薬学研究科博士課程修了。ニューヨーク大学メディカルセンター客員研究員、本学薬学部准教授等を経て、教授就任。薬学博士。



歯学部教授
(口腔構造・機能発育学系(小児歯科学))

齊藤 正人
(さいとう まさと)

PROFILE

本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科博士課程修了。米国立衛生研究所研究員、本学個体差医療科学センター、歯学部講師等を経て、教授就任。歯学博士。

平成23年8月1日付



歯学部准教授
(口腔機能修復・再建学系(口腔顎顔治療学))

伊藤 修一
(いとう しゅんいち)

PROFILE

本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科博士課程修了。ジョージア医科大学研究員、本学歯学部講師等を経て、准教授就任。歯学博士。



歯学部講師
(口腔機能修復・再建学系(口腔顎顔治療学))

泉川 昌宣
(いずみかわ まさのぶ)

PROFILE

本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科博士課程修了。本学歯学部助教等を経て、講師就任。歯学博士。

配置替

平成23年7月1日付

薬学部 講師(薬学教育支援室) 木村 真一

歯学部 教授
(生体機能・病態学系(臨床口腔病理学)) 安彦 善裕

〈学生キャンパス副学長制度〉

4代目Student Campus President 決定!

本制度は、より良い大学づくりを目指して、教員・職員とともに学生たちにも大学生活にかかわる各種プロジェクトの企画立案に参加してもらおうとスタートしたものです。今年も4代目SCPが誕生しましたので、ご紹介します。新SCPの活動状況については、随時、SCPホームページにて報告していく予定ですのでぜひご覧ください。

SCPホームページ <http://scp.hoku-iryu-u.ac.jp/>

■Student Campus President 〈学生キャンパス副学長制度〉について

- 活動 / ブランディングプロジェクトの企画・実施
 - オープンキャンパスの運営
 - 国家試験対策
 - 学内ベンチャー支援
 - 学内施設・サービスの改善
 - ブランドグッズ・商品開発
 - エコ対策 等
- 人数 / 4名(各学部から1名)
- 任期 / 1年間(8月から翌年度7月)再任なし
- 選出 / 立候補による選挙制
- その他 / 活動室の利用、活動費支給、プレザー支給



薬学部 薬学科 2年

坂田 紫帆(さかた しほ)



「より身近な大学に」

少しでもよりよい学生生活になるように、皆さんが日頃ふと思うようなことや、小さな意見を大事にしながら、SCP活動を行っていきたくと考えています。

そのためには、学生と大学との距離がもっと近くなることが大切だと思っています。

例えば、大学に対して、疑問や提案などの意見交流を行う場を設けてみたいと考えています。また、大学をもっと知ってもらえるような機会があればともっています。先生や先輩の話聞く機会があったりしたら、皆さんより身近に大学を感じることができるのではないのでしょうか。親しみある、楽しい大学を目指していきたくと思います。

そのためにも、まずSCPを皆さんに知ってもらい、より近い存在に感じてもらうように活動をしていきたいです。

この大学と皆さんと共にさらなる発展をしていけるよう、精一杯努力していきますので宜しくお願いします。

看護福祉学部 臨床福祉学科 2年

佐藤 陽(さとう あきら)



「本当のバリアフリーを目指す大学へ」

医療の志を強く発信できる大学にしていきたいと思っています。地域の方々と一緒に学んだり、活動したり出来る場をつくっていきたくと考えています。

私は、福祉のあり方や、バリアフリー、ノーマライゼーション、ユニバーサル・デザインといったことを学んでいますが、大学で学んだ事を生かしながら、SCP活動に取り組んでいきたいと思っています。

大学生活というのは今までとは比べ物にならないほどの自由性があります。その中で自分にしかできないことを現実にするチャンスが与えられます。ここからが本当のスタートと言ってもいいかもしれません。

今まで培ってきた経験や努力を一気に咲かせましょう。仲間と、そして、より多くの人たちと協力しながら頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

歯学部 歯学科 2年

清水 綾(しみず あや)



「楽しく。可能性を広げて」

もっとみんなの笑顔が多い大学にしていきたいと思っています。

私たちは、医療に携わるための勉強を毎日、積み重ねています。そのスケジュールには、本当に辛い、と思うことだってあります。

けれど、だからこそ充実した大学生活を送ることができるともっています。全員が、楽しい気持ちで大学で学ぶことができるよう考えていきたいです。

私たちの大学には、様々な分野で学んでいる学生たちがいます。分野が違うからこそ、気づくことがあったり、経験が違うからこそ思い浮かぶことが違ったりします。

お互いを尊重しあいながら、全員で何かを作り上げることができたらと思っていますので、皆様、宜しくお願い致します。

心理学部 言語聴覚療法学科 2年

上山 智美(かみやま ともみ)



「みんなと繋がって」

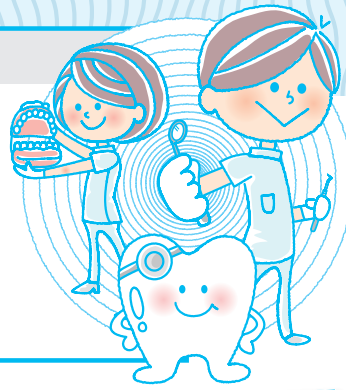
私は、SCPとして活動していくに当たり、まずは皆さんにその活動を知ってもらうことが大切だと思っています。やりたいこと、してもらいたいことを実現させるため、皆さんの意見・要望を取り入れ積極的に活動していきたいです。SCPの活動が、学生の声を反映させた学校づくりにつながることが目標です。

また、心理学部SCPは札幌あいの里キャンパスでの活動が中心になるということから、当別キャンパスとの連携に加え、あいの里の地域との関わりや他大学との交流といった活動にも取り組み、他学部とは一味違った活動を展開させていけたらと思います。大学を変える。それは決してたやすいことではありません。ですが、より良い大学生活を送るための助けができるよう、1年間精一杯努力していきますので宜しくお願いします。

歯科医療 最前線

vol.3

〔 審美・矯正 編 〕



永遠のレディの願いは歯がかなえる？

アンチエイジングは 歯とお口の健康から。

「アンチエイジング」は医療や美容の世界で注目のキーワード。日本語で「抗加齢」、老化のスピードを緩めて、すてきに年齢を重ねようという考え方です。実は、歯と口の健康は、その重要な鍵を握っています。

歯と口が健康でよく噛めることが身体機能の維持、若々しさに深く関わっているのです。お口と歯が健康であれば食物繊維やビタミン豊富な食品を多く摂取でき、お肌の老化や生活習慣病予防につながります。よく噛むと肥満を防ぎ、脳も活性化、だ液が全身の老化を抑えることもわかっています。さらに、家族や仲間と楽しくおいしく食事を楽しむことが五感を刺激し、こころの健康にもつながるのです。

口腔から考える全身のアンチエイジング。新しい時代の歯科医師の役割です。

キレイな歯と歯並びで ワンランク上の美しさを。

口もとの見た目をととのえることもアンチエイジングの重要なポイントです。歯並びがキレイだと、笑顔にも自信がもてますね。きらきら輝く笑顔、豊かな表情は人をいきいきと魅力的に見せることはもちろん、人付き合いを積極的にするなどビジネスや日常のコミュニケーションにプラスに働きます。もちろん、前述の「よく噛む」こと、病気を予防するためにも、歯並びや上下の噛み合わせは大切です。

歯並びをととのえ、噛み合わせを改善し、さらには口もとのかたちをととのえることも歯科医師の仕事です。「矯正歯科」の専門医が治療を担当します。また、歯を白くするホワイトニング(漂白)、すき間や詰め物を目立たなくするなど美しい歯の修復を主な目的とした「審美歯科」も注目度がアップし

ている分野です。

歯をもっとキレイに、白く、顔立ちもすっきりと…、美しさへの願いに応える治療法はどんどん進化し、歯科医師の活躍の場も広がってきています。

いつまでも
若く美しくいるのに、
歯って大切！



TOPICS

ヘアやネイルのサロンのような存在に。

今の方は年齢を問わずそれぞれ個性的な洋服や靴、バッグをスタイリングされ、肌や髪のお手入れもきちんとされています。けれど、歯や口もとにまでケアが行き届いているかという…、疑問です。かわい笑顔の口もとからくすんだ歯が覗いていたりすると、がっかりしますね。私は歯科医師として、欧米に比べてまだ低い日本人の歯、口もとへの意識を高める一助になれば、と思い、「歯科医院は怖いから行きたくない」というイメージを払拭できるよう、患者さんごとに話題を選んでケースバイケースでアプローチ、和やかな会話を心がけています。歯科医院が、ヘアサロンやネイルサロンのように、気軽に足を運んで心が満たされる場所となることを心から願っています。



歯科医師 友利 南海さん
(歯学部歯学科 2003年卒業)

「審美歯科への意識を高めるには私自身の歯や口もとが魅力的であることが大前提」という友利さんは沖縄出身。

※この取材は2009年に行ったものです。

REPORTS

English language & cultural seminar in Canada.

[University of Alberta]

カナダ・アルバータ大学語学研修レポート

去る8月5日(金)～8月25日(木)までの21日間にわたり、看護福祉学部6名、心理科学部3名、計9名の学生と教員2名が、カナダ・アルバータ大学の語学研修に参加しました。研修を体験してきた学生たちの研修レポートをお届けします。



「忘れられない出会い」

●看護福祉学部 看護学科 2年 青木 栄里香

私は、アルバータ語学研修を通して数多くのことを学びました。初めて海外に行った私にとっては、全てが新しい発見の毎日でした。バスなど身近なところでも日本との違いがあり、降り方が分からず困ったりもりましたが今となっては全てが良い思い出です。カナダに住んでいる人たちはみんなすぐくおおらかで、バスで座席の譲り合いや困っている人に対して声をかけてあげるなど、優しい人たちがたくさんいました。私が道に迷って困っている時も助けてくれたりと、心の広さに感激しました。そんな中で過ごした3週間は、私にとってはとても短い期間でした。特に、ホストファミリーとの出会いは私にとっての大切な思い出です。またにも英語を話さなくてもだんだんお互いの気持ちは通じるようになってきて、本当の家族が出来たようでした。日本に帰ってきた今でも、ホストファミリーとはメールやFacebookを通して連絡をとっています。また、カナダには色々な国の人が住んでいるのでカナダ人以外の友達もたくさん出来ました。この語学研修を通して、もっと英語の勉強をしたくなるようになりました。またカナダにも行こうと思っています。私にとってこの3週間は一生忘れる事のない思い出であり、自分の成長にも繋がる大切な時間となりました。

「貴重な3週間」

●看護福祉学部 看護学科 2年 青木 奈那子

カナダでの3週間は、自分にとって一生忘れられない経験となりました。カナダへ行くまでの間私事でとても忙しく、準備が進められるか不安でしたが、この機会を逃したら次にいつ行けるかわからないと思ったので、とても悩んだ結果行くことを決意しました。今考えて、本当に行って良かったと思います！とてもレベルの高いクラスに入ってしまい、先生の言っていること、クラスメートが話していることが聞き取れないという事態が起こり、宿題も多く、ほぼ毎日午前8時から12時まで授業、午後からアクティビティ、帰って宿題という日々で、あまり寝れない日もありました。しかし、段々聞き取れるようになっていくなりに来ていくを実感することができ、英語を勉強するのが楽しくなりました。カナディアンと出会えるのはもちろん、ロシア、韓国、中国、サウジアラビア、トルコなど様々な国の人と友達になることができ、私たちと同じように大学のプログラムで来ている、千葉大や新潟大、静岡大など日本人の友達もたくさん出来ました。帰ってきてからもその友達とは連絡を取っています。今よりも話せるようになって、いつかまたカナダへ行きたいです!!

「カナダで学んだ経験と思い出」

●看護福祉学部 看護学科 2年 石川 ちひろ

私は今回のアルバータ研修に参加できて本当によかったと思っています。それはカナダの文化や街や人に触れ、多くのことを経験し多くのことを学ぶことができたからです。

道に迷うと声をかけてくれたり、バスで隣にただで気軽に話しかけてくれたりカナダの人たちの心の温かさがとても感じられました。またカナダの看護師さんや対談させてもらう機会があり、日本とカナダの看護や医療の違いについて話したり、お互いの国の医療がこれからも発展するようどうすればいいのか意見を交換したりもしました。このような経験はこの研修に参加しないとできないことだと思います。そして一番思い出に残っているのはBanffで過ごした3日間です。カナダの大自然に触れ自然のエネルギーを肌で感じる事ができました。エメラルドグリーンに輝いたルイーズ湖は本当にきれいで感動しました。

時には自分の話したいことがうまく伝わらなくどうすればいいのか考えさせられることもありました。しかし互いを理解しようとしてくれたり、一緒に研修に参加したメンバーや先生に支えられ伝えることができ、コミュニケーションをとることの大切さについて違う角度から学ぶことができました。

この3週間の思い出と経験は私にとって宝物です。いつか絶対にまたカナダに行って今回は学べなかったことをもっと学んでいきたいです。

「カナダでの貴重な時間」

●心理科学部 臨床心理学科 3年 西塚 拓海

カナダでは日本では感じることのできない、数々の経験をすることができました。向こうでの授業は、英語圏の大学に入学するための授業プログラムに参加しました。求められることや、Homeworkも私にとってとても大変なものでした。向こうの大学は、5時間授業を行ったらHomeworkも毎日5時間分の課題が出るのが通常。さらに、私のクラスは長期で留学している人が半数以上で、私は聞くことも話すこともできず、最初は授業についていくこともままならない状況でした。しかしそんな中で得たことも多くあり、最後はさらに学びたいと思うようになりました。

毎日のActivityではカナダの歴史、医療、福祉について学んだり、Outdoorをしたりとても充実した毎日でした。HSUHメンバーもとても楽しく学んだり遊んだりできました。特にカナダの医療制度は驚きでした。カナダではほとんどの医療費は無料で、治療はどのくらいの費用がかかるかではなく、その人にとってどの程度治療を受ける必要があるかによって治療の順番などが決まるというもので、施設など日本では考えられないほど充実した医療がそこにはありました。

ActivityやRocky Tripなど、HSUHメンバーと一緒にとても楽しく、会話や笑いが絶えない毎日はカナダでの生活を本当に素敵なものにしてくれ、また、向こうで出逢ったHostfamilyやClassmateをはじめとする多くの人には感謝しています。また、機会を見つけて絶対にカナダに戻りたいと思います。留学は自分の考え方や世界観に多くのよい刺激を得るとてもよいものでした。

「カナダを通しての出会い」

●心理科学部 臨床心理学科 3年 三谷 亜季

今回のカナダ語学研修では多くの経験をし、参加する決断をして本当に良かったと思っています。様々な国から移住してきている人も含むカナディアンとの交流、広大な自然、医療など語学勉強と同時に多くのアクティビティを通しカナダを知ることができました。

語学勉強は、アルバータ大学で様々な国から集まっているクラスでした。授業はSpeaking、Listening中心で進み、自分の伝えたいことがあっても思うように伝えられず、戸惑いました。さらに、大学での語学コースは今年からプログラムが変わり昨年度と大きく異なっており、私たちが行った時期も後半であったため、クラスについていくのに辛い思いもしました。しかし、他国の人たちとの関わりはかけがえのないとても良い経験になりました。片言であっても一生懸命に伝えようとし、聞く側も理解しようとして真剣に聞いてくれました。ディベートを通しカナダだけではなく中国、韓国、ナイジェリアなど国ごとの文化、考え、気質などの違いについて、直接触れ、学ぶことができ、とても面白く楽しい経験ができたことも事実です。

アクティビティでも、様々な自然や施設に訪れ、日本では考えたことのない、見たことのない、体験したことのないばかりで毎日が充実しており、得ることがたくさんありました。大変な思いもしましたが、帰ってきて思うことは行って本当に良かったという思い一つです。今回の経験を次の機会にぜひ活かしたいと思っています。



2011年度「FD研修」を開催

本年度のFD研修(テーマ編)が8月11日、札幌サテライトキャンパスにて開催されました。学生の多様化が進行する中で、本学はキャリア教育を実践していく上で、さまざまな課題に直面しています。キャリア支援に対する問題点を各学部・学科ごとに明らかにし、それらを全体で共有した上で、キャリア形成支援においてどのような取り組みが必要なのか、その具体を創造することを目的として実施されました。

参加者はFD委員12名を含む総勢40名。今回は、事務職員も参加する研修となりました。午前9時30分から開始。オリエンテーションに続き、参加者による自己紹介が行われた後、FD委員長から今回の研修テーマの説明がありました。本学のほとんどの学部・学科は専門職能人

の育成を使命とする組織ですが、一方においてはキャリア意識の低い、また基礎学力を含む学習準備状態に乏しい学生を受け入れる状況となっています。「知識・技能」というスキル面ばかりでなく、「職業観」・「勤労観」などといった内的キャリア面からの教育的支援も組織的かつ継続的に行っていく必要があります。また、これからの医療を取り巻く環境の変化を考えると、「人生・生涯」という長期的視点に立つキャリア支援が求められています、との問題提起がなされました。

午前の部の最後のプログラムでは、各学部・学科の進路動向の説明に続き、学生支援課から就職動向等の説明がありました。ここでは就活における学生像の変容についても言及され、あらためて学生の気質に変化が起きていることを確認する機会となりました。

昼食後、ワークショップ(WS)型のFD研修を開始。各学部・学科の参加教員などから構成される6グループが、WSでの役割等を確認した後、WS1の課題「キャリア形成の問題と教育の在り方」に挑みました。ここでは、グループごとにキャリア形成支援においての問題点を整理し、それに対する対策案などを纏めて発表。活発な質疑応答が行われました。



休憩をはさんでWS2の作業へ。ここでの課題は「今後のキャリア形成の支援の在り方」でありました。WS1で提示された対応策を基本として、組織として実施できる課題解決の具体策をつくりあげる作業が行われました。大学の入り口から出口までの教育課程の全体を通して実現可能な、また卒業後において実施できるキャリア形成支援の具体などについて、活発な議論が交わされました。最終的には、各学部・学科で実施に向けてのプロダクトが作成されました。

最後に全体討論が行われた後、夕食会を兼ねた「情報交換会」へと研修の場所を移動。ここでは、同じ大学組織内においても普段あまり話す機会の少ない教員同士、終始、和やかな雰囲気のもとで、互いにさまざまな情報が交わされました。午後8時には、すべてのFD研修のプログラムが終了しました。

今回の研修で作成されたプロダクトは、平成23年度のFD研修報告書に纏められることになっています。



平成23年文科省「大学教育・学生支援推進事業」

学生支援推進プログラム特別キャリアデザイン講座を開催しました。

8月3日(水)より5日(金)までの3日間、看護福祉学部臨床福祉学科3年生を対象に「特別キャリアデザイン講座」が開催されました。

企業・教育機関等で社員研修トレーナーやキャリアカウンセリングをされている専門の外部トレーナーを講師としてお招きし、「自ら将来を切り開いていく力を身につける」～私ってどんな人、私の仕事観～というテーマで「働くことを知る・課題発見力を身につける」「自分を知る」「自分を理解し表現する」等の項目

による講座を開催しました。参加した学生はディスカッション等を通じ改めて自分の将来を見据え「働くこと」を考える良い機会となったようです。

本講座の開講により、本事業の目的の一つである豊かな人間性の涵養やコミュニケーション能力、課題探求能力等、学士力・社会人基礎力の向上を図るとともに、学生の自主的な就職活動の充実が期待されます。

なお、9月にも同様に心理科学部臨床心理学科の学生を対象に特別キャリアデザイン講座の開催を予定しています。



「自分を知る」「自分を理解し表現する」等の項目について、少人数4クラスでグループワーク形式に

平成23年度 薬学生セミナー(学内合同就職相談会)を開催しました。

平成23年7月15日(金)、来春(平成24年3月)、薬学6年制移行後、初の卒業生となる6年生を主な対象とした「平成23年度 薬学生セミナー(学内合同就職相談会)」が開催されました。

当日は道内・道外の病院・薬局等より人事担当の方々が来学され、学生に対して就職に関する説明や相談等をさせていただきました。

参加した学生も各ブースを積極的に訪れ、活発に応募に即した相談等を行いました。

本学各学部・学科に関わる職種の求人お申込については、本学ホームページをご参照ください。

セミナー参加団体 / 103団体 ●病院: 60 ●薬局: 43



2012年度 入試概要

本学独自の「夢つなぎ入試」で経済的支援

昨年度に引き続き、今年度も条件により初年度入学金の全額と授業料の半額を免除する「夢つなぎ入試」を、一般後期とセンター後期入試において実施します。昨年度は合計40名が支援対象となりました。

「歯学部特待奨学生」は学納金が大幅に減免

将来、歯科医学・歯科医療の分野をリードするという高い志を持った方を支援するため、「歯学部特待奨学生」制度をセンター前期Aと一般後期Bにおいて実施。対象者は卒業までの学納金が国公立大学と同水準となります。

一般前期入試は「試験日自由選択制」を導入

一般前期入試は2日間実施しており、両日とも受験できるのでチャンスが2回あります。検定料は両日受験でも1日のみの受験でも同じく3万円。複数学科の併願も可能で、すべての学科を受験しても追加の検定料は一切かかりません。

推薦入試と一般入試は全国各地で実施

推薦入試は本学、帯広、北見、函館、仙台、東京、大阪、那覇の全国8会場で実施（指定校特別推薦の試験

会場は、学生募集要項でご確認ください。また、一般前期入試は札幌、旭川、帯広、北見、函館、青森、秋田、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の全国13会場で行います。

センター利用入試はチャンスが3回

前期A、前期B、後期の3回実施しています。大学独自の個別試験は行わず、本学が指定する科目の大学入試センター試験の得点のみで合格判定を行います。

また、同一入試形態内での併願が可能。追加の検定料はなく1万5千円で全学科全学科受験できます。さらに前期AとBの両方の入試形態に出願することもできます。

一般入試とセンター入試の併願が可能

一般前期入試とセンター前期A・B入試の併願や、一般後期入試とセンター後期入試の併願ができます。

合格のチャンスは合計7回

全学科でAO方式入試をはじめ7回の入試を実施しています（歯学部のみ8回）。各入試形態の主なポイントは以下のとおりです。

AO方式入試は学業だけでなく、クラブ活動や資格取得状況なども評価。高校卒業程度認定試験（大学入学資格検定含む）の合格者も受験できます。また歯学科・臨床福祉学科・歯科衛生科では事前エントリーの受付を行っています。

一般推薦入試は、調査書、小論文、面接などで合格判定を行います（詳しくは学生募集要項でご確認ください）。

一般入試は前期、後期の2回実施。また、歯学部のみ後期B入試も実施しています。

センター利用入試の前期Aは、センター試験前日までに。前期Bと後期はセンター試験終了後に出願期間がはじまるので、実際に手ごたえのあった教科で受験できます。

インターネット出願を実施

センター前期B、一般後期、センター後期で実施しています。詳細は、学生募集要項でご確認ください。

歯科衛生士専門学校の試験会場は道内各地

推薦入試は本校・帯広・北見・函館の4会場、一般前期Aは札幌・帯広・北見・函館の4会場、一般前期Bは札幌・旭川・帯広・北見・函館の5会場で実施します。

■2012年度 北海道医療大学入試概要

※募集定員の変更を予定

入試方式	薬学部 薬学科 [募集人員 150名]		歯学部 歯学科 [募集人員 86名]		看護福祉学部 看護学科 [募集人員 90名]		臨床福祉学科 [募集人員 90名]		心理科学部 臨床心理学科 [募集人員 65名]		言語聴覚療法学科 [募集人員 53名]	
	募集人員	15名	20名	6名	15名	5名	6名					
試験日	2次:2011年10月9日(日)											
合格発表日	1次:2011年9月30日(金) 2次:2011年10月14日(金)											
試験会場(受験地)	本学(当別キャンパス)											
推薦入試	一般20名 ※2 指定校特別25名	一般8名 ※2 指定校特別8名	一般15名 ※2 指定校特別15名	一般10名 ※2 指定校特別15名	一般10名 ※2 指定校特別7名	一般7名 ※2 指定校特別7名						
試験日	2011年11月13日(日)											
合格発表日	2011年11月18日(金)											
試験会場(受験地)	本学(当別キャンパス)・帯広・北見・函館・仙台・東京・大阪・那覇 ※ただし、指定校特別推薦は一部会場のみ。											
一般前期入試	55名	29名	36名	32名	25名	15名						
試験日	2012年1月30日(月)・2012年1月31日(火) ※3 試験日自由選択制											
合格発表日	2012年2月4日(土)						2012年2月7日(火)					
試験会場(受験地)	札幌・旭川・帯広・北見・函館・青森・秋田・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡											
一般後期入試B ※歯学部のみ	5名	一般後期4名 一般後期B5名	5名	5名	5名	5名						
試験日	2012年2月28日(火)		2012年2月27日(月)									
合格発表日	2012年3月3日(土)		2012年3月3日(土)									
試験会場(受験地)	札幌・東京・大阪											
前期A入試	15名	6名	6名	6名	6名	6名						
試験日	本学独自の個別試験は実施しない											
合格発表日	2012年2月7日(火)											
前期B入試	10名	4名	4名	4名	4名	4名						
試験日	本学独自の個別試験は実施しない											
合格発表日	2012年2月7日(火)											
後期入試	5名	2名	3名	3名	3名	3名						
試験日	本学独自の個別試験は実施しない											
合格発表日	2012年3月3日(土)											

■2012年度 歯科衛生士専門学校入試概要

入試方式	募集人員	試験日	合格発表日	試験会場(受験地)
AO方式入試	20名	エントリーシート提出後、面接を実施	出願受付後10日以内に通知	本校(当別キャンパス)
推薦入試	17名	2011年11月13日(日)	2011年11月18日(金)	本校(当別キャンパス)・帯広・北見・函館
一般前期入試A日程	5名	2011年12月4日(日)	2011年12月7日(水)	札幌(札幌サテライトキャンパス)・帯広・北見・函館
一般前期入試B日程	5名	2012年1月31日(火)	2012年2月7日(火)	札幌(札幌コンベンションセンター)・旭川・帯広・北見・函館
一般後期入試	3名	2012年2月28日(火)	2012年3月3日(土)	札幌(札幌サテライトキャンパス)

※1 歯学部・臨床福祉学科はⅡ期、Ⅲ期の出願があります。
 ※2 指定校特別推薦は指定校制です。募集要項等は、直接指定校のみに配布しますので、詳細は各高等学校進路指導室へお問い合わせください。
 ※3 一般前期入試の試験日は2日間設定しており、出願時に希望する試験日を登録できます。

センター利用入試(前期A)の指定教科・科目

学部・学科	教科	科目
薬学部 薬学科	外国語	「英語」
	数学	「数学I・A」、「数学II・B」から1科目選択
	理科	「化学I」、「生物I」、「物理I」から1科目選択
歯学部 歯学科	外国語	「英語」
	数学	「数学I・A」、「数学II・B」から1科目選択
	理科	「化学I」、「生物I」、「物理I」から1科目選択
看護福祉学部 看護学科 臨床福祉学科	外国語	「英語」
	数学・国語	「数学I」、「数学I・A」、「数学II」、「数学II・B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
	理科・地理 歴史・公民	「化学I」、「生物I」、「物理I」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1科目選択
心理科学部 臨床心理学科 言語聴覚療法学科	外国語	「英語」
	数学・国語	「数学I」、「数学I・A」、「数学II」、「数学II・B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
	理科・地理 歴史・公民	「化学I」、「生物I」、「物理I」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1科目選択

【備考】

- 「英語」については、筆記試験のみを対象とし、リスニングテストは含みません。
- 薬学部の「数学」「理科」については、センター試験の得点を2倍にして計算します。
- 各教科・科目で2科目以上受験した場合は、最も高得点の科目を合格判定に使用します。

センター利用入試(前期B・後期)の指定教科・科目

学部・学科	教科	科目
薬学部 薬学科	外国語・数学	「英語」、「数学I・A」、「数学II・B」から1科目選択
	理科	「化学I」、「生物I」、「物理I」から1科目選択
歯学部 歯学科	外国語・数学	「英語」、「数学I・A」、「数学II・B」から1科目選択
	理科	「化学I」、「生物I」、「物理I」から1科目選択
看護福祉学部 看護学科 臨床福祉学科	外国語・数学・国語	「英語」、「数学I」、「数学I・A」、「数学II」、「数学II・B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
	理科・地理 歴史・公民	「化学I」、「生物I」、「物理I」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1科目選択
心理科学部 臨床心理学科 言語聴覚療法学科	外国語・数学・国語	「英語」、「数学I」、「数学I・A」、「数学II」、「数学II・B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
	理科・地理 歴史・公民	「化学I」、「生物I」、「物理I」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1科目選択

【備考】

- 「英語」については、筆記試験のみを対象とし、リスニングテストは含みません。
- 「英語」以外の科目は、センター試験の得点を2倍にして計算します。
- 各教科・科目で2科目以上受験した場合は、最も高得点の科目を合格判定に使用します。

編入学 試験概要

すべての学科で、編入学生を受け入れています。

本学は、一般の入学試験とは別に、専修学校や短期大学を卒業した方（卒業見込み者含む）、または大学在学中（2年以上、62単位以上修得）の方、さらに一度社会に出たけれども専門知識や能力をより高めたいと考えている方を対象に、2年次、3年次編入学試験を実施しています。一般選抜のほかに、社会人特別選抜も実施しています。また、編入学試験は毎年2回行われており、I期で不合格であってもII期で再チャレンジすることができます。

■2012年度 北海道医療大学編入学試験概要 ※募集定員の変更を予定

	薬学部(3年次編入) ●薬学科 [募集定員 10名]	歯学部(2年次編入) ●歯学科 [募集定員 若干名]	看護福祉学部(3年次編入) ●看護学科 [募集定員 10名]	臨床福祉学科 [募集定員 10名]	心理科学部(3年次編入) ●臨床心理学 [募集定員 5名]	●言語聴覚療法学科 [募集定員 9名]
I期	募集定員 [7名] [若干名] [7名] [7名] [5名] [6名]					
出願期間	2011年10月11日(火)～10月26日(水) 郵送(速達簡易書留)、締切日消印有効					
試験日	2011年11月13日(日)					
合格発表日	2011年11月18日(金)					
試験会場	本学(当別キャンパス)・東京・大阪					
II期	募集定員 [3名] [若干名] [3名] [3名] [若干名] [3名]					
出願期間	2012年1月6日(金)～1月13日(金) 郵送(速達簡易書留)、締切日消印有効					
試験日	2012年1月31日(火)			2012年1月30日(月)		
合格発表日	2012年2月7日(火)					
試験会場	札幌・東京・大阪					
試験科目	【社会人特別選抜】 ○小論文 ○化学・生物○面接 【一般選抜】 ○英語○化学・生物○面接 ※化学・生物の出題範囲については本学ホームページをご覧ください。	○小論文 ○面接	【社会人特別選抜】 ○小論文○面接 【一般選抜】 ○専門科目○面接	【社会人特別選抜】 ○小論文○面接 【一般選抜】 ○小論文○面接	【社会人特別選抜】 ○英語○面接 【一般選抜】 ○英語○基礎科目○面接 ※基礎科目:法・社会・心理学から2科目を選択	【社会人特別選抜】 ○英語○面接 【一般選抜】 ○英語○小論文○面接
出願資格	【社会人特別選抜】 下記のいずれかに該当する者で卒業後、社会人として2年以上の職務経験がある者。 (1)大学を卒業した者 (2)理系短期大学(生物系専攻、化学系専攻、臨床検査、放射線技術などの2または3年制課程)を卒業した者 (3)工業系高等専門学校を卒業した者 (4)医療、環境、化学技術に関する専修学校(修業年限2年以上で課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上、かつ高等学校を卒業したもの)を卒業(修了)した者 (5)上記と同等以上の学力があると本学が認めた者 注)ただし、(2)、(4)、(5)については出願時に資格審査(履修科目審査)を行い受験の可否を決定する。 【一般選抜】 下記のいずれかに該当する者。 (1)大学を卒業もしくは2012年3月31日までに卒業見込みの者 (2)理系大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者もしくは2012年3月31日までにこれらの条件を満たす見込みの者 (3)理系短期大学(生物系専攻、化学系専攻、臨床検査、放射線技術などの2または3年制課程)を卒業もしくは2012年3月31日までに卒業見込みの者 (4)工業系高等専門学校を卒業もしくは2012年3月31日までに卒業見込みの者 (5)医療、環境、化学技術に関する専修学校(修業年限2年以上で課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上、かつ高等学校を卒業したもの)を卒業(修了)もしくは2012年3月31日までに卒業(修了)見込みの者 (6)上記と同等以上の学力があると本学が認めた者 注)ただし、(3)、(5)、(6)については出願時に資格審査(履修科目審査)を行い受験の可否を決定する。	下記のいずれかに該当する者。 (1)大学を卒業もしくは2012年3月31日までに卒業見込みの者 (2)大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者もしくは2012年3月31日までにこれらの条件を満たす見込みの者 (3)理系短期大学(生物系専攻、化学系専攻、臨床検査、放射線技術などの2または3年制課程)を卒業もしくは2012年3月31日までに卒業見込みの者 (4)工業系高等専門学校を卒業もしくは2012年3月31日までに卒業見込みの者 (5)医療、環境、化学技術に関する専修学校(修業年限2年以上で課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上、かつ高等学校を卒業したもの)を卒業(修了)もしくは2012年3月31日までに卒業(修了)見込みの者 (6)上記と同等以上の学力があると本学が認めた者 注)ただし、(3)、(5)、(6)については出願時に資格審査(履修科目審査)を行い受験の可否を決定する。	【社会人特別選抜】 下記のいずれかに該当する者で卒業後、保健・医療・福祉領域において通算して3年以上の実務経験がある者。 看護系短期大学または看護系専修学校の専門課程(修業年限2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上)を卒業(修了)し、看護師免許を有する者。 注)ただし、看護系専修学校を卒業した場合は、高等学校以上を卒業した者。 【一般選抜】 下記のいずれかに該当する者。 看護系短期大学または看護系専修学校の専門課程(修業年限2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上)を卒業(修了)もしくは2012年3月31日までに卒業(修了)見込みの者 (2)大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者もしくは2012年3月31日までにこれらの条件を満たす見込みの者 (3)社会福祉系短期大学を卒業した者 (4)医療技術系短期大学を卒業した者 (5)保健・心理系短期大学を卒業した者 (6)学校教育法第56条に定める12年の課程を修了し、かつ下記の専修学校の専門課程(修業年限2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上)を卒業(修了)した者 ①社会福祉系専修学校 ②医療技術系専修学校 ③保健・教育系専修学校 (7)上記と同等以上の学力があると本学が認めた者 注) (4)及び(6)②の医療技術系……看護、臨床検査、診療放射線、理学療法、作業療法、臨床工学、言語聴覚、歯科衛生等の各分野	【社会人特別選抜】 下記のいずれかに該当する者で、通算して、概ね3年の実務経験もしくは同等以上の経験がある者。 (1)大学を卒業した者 (2)大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者 (3)社会福祉系短期大学を卒業した者 (4)医療技術系短期大学を卒業した者 (5)保健・心理系短期大学を卒業した者 (6)学校教育法第56条に定める12年の課程を修了し、かつ下記の専修学校の専門課程(修業年限2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上)を卒業(修了)した者 ①社会福祉系専修学校 ②医療技術系専修学校 ③保健・教育系専修学校 (7)上記と同等以上の学力があると本学が認めた者 注) (4)及び(6)②の医療技術系……看護、臨床検査、診療放射線、理学療法、作業療法、臨床工学、言語聴覚、歯科衛生等の各分野	【社会人特別選抜】 下記のいずれかに該当する者で、卒業後の後、概ね3年以上の社会人経験もしくは同等以上の経験がある者。 (1)大学を卒業した者 (2)大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者 (3)医療技術系短期大学を卒業した者 (4)学校教育法第56条に定める12年の課程を修了し、かつ医療技術系専修学校(修業年限2年以上の専門課程、修了に必要な総授業時間数1,700時間以上)を卒業(修了)した者 【一般選抜】 下記のいずれかに該当する者。 (1)大学、短期大学、高等専門学校または専修学校(修業年限2年以上の専門課程、修了に必要な総授業時間数1,700時間以上かつ高等学校を卒業した者)を卒業(修了)した者 (2)大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者 (3)医療技術系短期大学を卒業した者 (4)学校教育法第56条に定める12年の課程を修了し、かつ医療技術系専修学校(修業年限2年以上の専門課程、修了に必要な総授業時間数1,700時間以上)を卒業(修了)した者 注) (3)及び(4)の医療技術系……看護、臨床検査、診療放射線、理学療法、作業療法、臨床工学、言語聴覚、歯科衛生等の各分野	【社会人特別選抜】 下記のいずれかに該当する者で、卒業後の後、概ね3年以上の社会人経験もしくは同等以上の経験がある者。 (1)大学を卒業した者 (2)大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者 (3)医療技術系短期大学を卒業した者 (4)学校教育法第56条に定める12年の課程を修了し、かつ医療技術系専修学校(修業年限2年以上の専門課程、修了に必要な総授業時間数1,700時間以上)を卒業(修了)した者 注) (3)及び(4)の医療技術系……看護、臨床検査、診療放射線、理学療法、作業療法、臨床工学、言語聴覚、歯科衛生等の各分野

大学院入学 試験概要

各研究科とも、博士課程まで設置されています。

本学の大学院には、薬学・歯学・看護福祉学・心理科学の4研究科があり、すべての研究科において一般入試と社会人入試があります。また、歯学研究科では「研究コース」に加え「認定医・専門医養成コース」もあり、研究者だけでなく、認定医・専門医育成の体制も整っています。看護学専攻修士課程では、専門看護師(CNS)、ナースプラクティショナー(NP)の教育課程も設置しています。

■2012年度 北海道医療大学大学院入学試験概要

	薬学研究科 ●生命薬科学専攻 ●薬学専攻	歯学研究科 ●歯学専攻 [研究コース/認定医・専門医養成コース]	看護福祉学研究科 ●看護学専攻 ●臨床福祉学専攻	心理科学研究科 ●臨床心理学専攻 ●言語聴覚学専攻
修士課程	募集定員 一般選抜[3名:社会人を含む] 社会人特別選抜[3名:一般を含む]	募集定員 —	募集定員 一般選抜[若干名] 社会人特別選抜[若干名]	募集定員 臨床心理学専攻-一般選抜[3名:社会人特別選抜を含む] 言語聴覚学専攻-一般選抜[2名:社会人選抜を含む] 臨床心理学専攻-社会人特別選抜[3名:一般選抜を含む] 言語聴覚学専攻-社会人選抜[2名:一般選抜を含む]
出願期間	2011年11月1日(火)～11月14日(月)	—	2012年1月6日(金)～1月19日(木)	2012年1月6日(金)～1月17日(火)
試験日	2011年11月16日(水)	—	2012年1月24日(火)	2012年1月19日(木)
合格発表日	2011年11月24日(木)	—	2012年1月27日(金)	2012年1月25日(水)
試験会場	本学薬学部	—	本学看護福祉学部	本学心理科学部
博士課程	募集定員 一般選抜[4名:社会人を含む] 社会人入試[4名:一般を含む]	募集定員 一般選抜[4名:社会人を含む] 社会人入試[4名:一般を含む]	募集定員 一般選抜[各専攻2名:社会人を含む]	募集定員 臨床心理学専攻-一般選抜[2名] 言語聴覚学専攻-一般選抜[2名:社会人選抜を含む]
出願期間	2012年1月24日(火)～2月10日(金)	2012年1月24日(火)～2月10日(金)	2012年1月23日(月)～2月9日(木)	2012年1月30日(月)～2月10日(金)
試験日	追って公表します。	2012年2月16日(木)	2012年2月13日(月)	2012年2月15日(水)
合格発表日	—	2012年2月22日(水)	2012年2月17日(金)	2012年2月22日(水)
試験会場	—	本学歯学部	本学看護福祉学部	本学心理科学部

※薬学研究科修士課程は第1回、歯学研究科博士課程、看護福祉学研究科修士課程、心理科学研究科修士課程は第2回入試となります。

授業レポート

看護福祉学部 臨床福祉学科 [4年制]

コミュニケーション論
2年次 コース必修

今回のレポーターは

介護福祉コースの2年生。前列左から清水彩子さん(札幌啓成高校卒)、加賀さやかさん(帯広大谷高校卒)、後列左から西村智美さん(北海学園札幌高校卒)、伊藤愛さん(クラーク記念国際高校卒)、安東芹菜さん(北海高校卒)。



レクリエーションに見えて、実は濃厚な演習。 「意外!」「納得!」満載で、毎回楽しみです。

きょうのテーマ「開放する」。
体と心の緊張を解きます。

私たちがご紹介するのは看護福祉学部2年次の選択科目、私たち臨床福祉学科介護福祉コースでは必修の「コミュニケーション論」です。きょうは5回目、テーマは「開放する」。人の体に直接触れる専門職に大切な、体から余計な緊張を取る方法を学ぶ演習です。

「コミュニケーション」と「体」の緊張にどんな関係か?という疑問がわきそうですが、こんなふうに意外な切り口からコミュニケーションに迫り、具体的方法を学べるのがこの授業の特徴、面白さです。

「筋肉を弛緩させると心の緊張がほぐれ、逆に心の緊張は体の緊張として現れます。介護職の場合、緊張はケアの受け手に「自信のなさ」として映ります」と長谷川先生。一見して緊張しているとわかる人に介護される不安は、私たちにも容易に想像できます。ひと目で安心できる人、頼りなさそうな人、日ごろ私たちは瞬時に判断していますが、そこには「筋肉の緊張」も関係しているので



「ティッシュ吹き」でウオーミングアップ。1枚にはがして吹き上げ、腕、足、顔などで受けとめます。早速、自分の体を自由にコントロールできないもどかしさに直面しました。ちなみに、空気を乱さずとどろりと下に戻込んで待つのがコツです。

ハーフリラクセーションを
自分の体で体験。

きょうの目標は「ハーフリラクセーション」獲得です。ハーフリラクセーションとは完全なリラックス状態ではなく、体と心に必要な力だけが入っている「適度な緊張状態」です。自分自身をそこへ導くトレーニングは難しいものではありませんでした。筋肉に意識を向ければいいのです。意識を

直立し両腕を横に伸ばし体の十字を保ちながら他の人が頭や腕に乗せたお手玉やティッシュで筋肉の緊張を意識します。お手玉1つが妙に重く感じられたり、バランスを取ろうと乗せられた逆の腕が下がったり、体が興味深い反応をします。呼吸を止めずに余計な力を抜くことを意識して、お手玉に乗せられてもほとんど感じない状態になったら、ハーフリラクセーション獲得です!



向けると気づきがたくさんありますが、その感覚を言葉で表現するのは難しいので、ぜひ右上の写真を参考に試してみてください。心の状態もコントロールされるのが実感できます。

手のひらを通して「信頼」が
強く伝わってきました。

最後は「信頼またはゆりかご」です。輪を作り中心に1人立ちます。中心の人は周りに体を預け、それを輪にいる人が倒れないように手のひらで受けとめ、押し、前後左右にゆらゆら動かします。輪では、「体を預けられている」と感じると「大切に扱わなければならない」という気持ちが出てきますし、逆に背中筋の緊張が手のひらから伝わりと押し方もごちなくなります。中心に立つと、周囲の人に完全に体を預ける難しさを痛感します。

「介護現場では信頼関係があれば「抱える」「抱えられる」双方の体の動きが自然になり、それが最も効率的で、安全な介護につながります」。締めくくりの先生の言葉が実感を伴って受けとめら



全員が信じ合えなければ成り立たない「ゆりかご」で、信頼関係こそ介護の事故を防ぐ鍵であることがよく理解できました。さらに、長谷川先生が私たちに寄せる信頼も手のひらから伝わってきました。応えられるよう、頑張らなくちゃ!



れた演習でした。

さて、きょうのポイントは「体を見れば心の状態がわかる!」です。皆さんも意識して周囲、自分を見ると、よりよいコミュニケーションのヒントが見つかるかもしれませんよ。

担当教員より

コミュニケーションは
身体(からだ)で学ぶ

●長谷川 聡 准教授

コミュニケーションは誰もが毎日しています。どうすれば良いコミュニケーションができて、良い人間関係が作れるか。学生諸君も「頭ではわかっている」ことでしょう。でも「わかっているけどできない」ではダメ。だからコミュニケーション学習で大切なのは理屈以上に、体験を重ねて実践力を身につけること。この授業はコミュニケーションスキルを見直すためのゲームやワークを沢山行います。机も椅子も使わない講義室で、ぜひ「身体で学ぶ」心地よさと緊張を味わい、コミュニケーションの「できる」臨床家になるための気づきを得てください。

集うことの幸せ

看護福祉学部
看護学科

講師 西村 歌織



高校までは小樽で過ごし、訳あって弘前大の医療技術短大へ進みました。初めは街ゆく人の言葉が聞き取れず海外留学のような思いで入学しました。心細さに高校時代の吹奏楽部の先輩を訪ね、オーケストラに所属していると聞き私も早速入団しました。トロンボーンを吹きたかったのですが女性にオケの管楽器は無



初めてナースキャップをつけた日。涙で目が腫れていません(左が私)

学問の自由と自由に対する責任

心理科学部
言語聴覚療法学科

准教授 榎原 健一



音楽や文学に熱中した、わりに自由気儘な高校3年間を経て、入学した京大理学部は、想像以上の自由なところだった。そもそも京大では、学生は1年生と呼ばず1回生と呼ぶ。学年と言う概念自体がナンセンスとされてたからだろう。理学部は卒業単位全部取得しても、申請しなければ卒業しなくて良い。卒業単位を全部取得して満を持して休学、海外放浪なんてことも可能。ただこの制度は、うっかり卒業申請を忘れて卒業出来なくなるということをも意味する。また、在学中の学科も専攻も卒業申請時に決定される。例えば、卒業時に数学系の科目の取得単位数が一番多ければ、「数学系」卒となる。

怠惰な僕は1回生時に週に6コマ位しか出席しなかったが、手続き上2年目にしか取れない語学と体育の単位を除いて、教養での単位

理と言われ(酷い差別です)、ピアノを弾くことになりました。週4回の合奏とパート練習でしたので、臨床実習が終わると図書館で一気に記録を書き18時からの練習に直行していました。合奏がない日も、「チェロ小屋」と呼ばれる借家に個人練習と称して何となく集まっていた。その流れで誰かの家に何となく集まっては朝を迎える日々で、ほとんど自分の家にいた記憶がありません。家にいて

も早朝から「ドライブいかあ?」と先輩が窓の外に立っていたりで、異国の地でも寂しさを感じることがありませんでした。そして集うことの楽しさと自由の有難さを学んだように思います。お陰でピアノはそこそこ弾けるようになりました。

一応看護学生でしたが、そちらは身が入っていませんでした。二日酔いの具合の悪さに先生に休憩室で休んでなさいと言われたこともあり。その先生は何と実践基礎看護学の平先生でした(すみませ



先輩宅で夕食(左から3番目が私)

ん)。先生はこんな私でも、カンファレンスのプレゼン準備を本気ですると、「これ研究になるよ!西村さんってやろうと思うとできる人なのね」と言ってくれました。密かに今もそれを励みにしています。

振り返ると、看護者としての適性も大事かもしれないませんが、人との交流からの学びが看護者としての人生に生きています。私は今も看護者として、そして人として、がん経験者の方々と集いイベントを企画しながら、社会的な交流の意味やそれが阻害されることの意味を考え続けています。学生の皆さんにもぜひ人とのつながりを大切にして、あらゆる経験を積んで欲しいです。

私の学生時代

今、本学の教壇に立たれている先生たちは、学生時代をどのように過ごしていたのでしょうか。今回は西村講師と榎原准教授のお二人に、当時の様子を語っていただきました。

をすべて取った。2回生になると、3、4回生担当の数学教室の専門科目の単位もそれなりに取ったが、上には上が居て、同じ年に入学したK君などは、2回生の時に卒業に必要な単位を全部揃えてしまい、3年から休学して9月に米国の大学院に入学してしまった。彼はそれから2年で博士号を取ったので、書類上は大学卒業後、半年で博士になっている筈である。飛び級も何も許されていない時代に、何故かこういう異例が許されていた。

学部では学生は教員を“さん”づけて呼ぶ不文律があった。ノーベル賞受賞者を多数輩出している京大理学部では、ノーベル賞を取る可能性がある学生が、ノーベル賞を取っていない教授を“先生”と呼ぶ必要はないと云うことだった。僕のいた数学教室の教員は、お互いに“さん”

“君”で呼び合い、教室内では教員はネクタイをしないと申し合せていた。学びたければ学ぶことを妨げるものは何も無い、学びたくなければ学ばずとも良いが責任は自分で取れ、と云う自由な学生生活は、師匠の亡き丸山正樹教授が言っていた様に、優秀な学生には理想的だが、落ちこぼれには、これほど苛酷なシステムは無い。

大学での自由な学生生活が人格形成に影響したのか、そもそもそう云う人間だったからそう云う大学に行ったのかは不明であるが、とは言え大学から大学院まで通った京大の校風が、僕の性分と一致していたのは、幸運な選択だったと今でも思う。



OG訪問

今回ご紹介するのは、緩和ケア病棟を備え
地域に根ざしたがん治療で知られる恵佑会札幌病院の
看護師、吉澤さん。無我夢中の1年目を終え、
少しでも余裕ができていま、自分磨きにも励んでいます。

社会医療法人恵佑会札幌病院 看護師

吉澤 由季子さん（看護福祉学部看護学科2010年卒業）



1年半でプロの顔。

吉澤さんの職場は恵佑会札幌病院（札幌市白石区）の消化器内科専門、45床の病棟。主に、早期の食道がん、胃がん、大腸がんはじめ、肝・胆・膵がんの内視鏡による治療、放射線・抗がん剤治療、胃や大腸のポリープ切除の患者さんが入院しています。就職時の「覚悟はあっても、命に関わるというプレッシャーに耐えられるか」という不安、初めての夜勤で「患者さんの容態が急変したらどうしよう」とドキドキしたことを飾らずに話してくれる吉澤さんも、いますっかりプロの顔。1年半の経験が自信と誇りを確実に育てたことがわかります。

基本をおざなりにしない。

吉澤さんは現場に出て“基本”の大切さを再認識しました。「大学で早くに教わる病室・ベッド周りの整頓もそう」と、ベッドの脚のキャスターを例に挙げます。病室では内側に向けスリッパをかけるのが基本。もし外向きに出いたらすぐに直さなければなりません。急いでいても「ま、いいや」「後で」という気持ちは大敵。健康な時なら避けられるし、つまづいてもほとん



アトピーの通院で幼い頃から身近な存在だった看護師を職業として意識し始めたきっかけは、中学校の職業体験授業でした。

ど大事には至りませんが、患者さんの場合は転倒事故、さらに骨折につながるものが現実にあるからです。「小さなことから事故やミスを防ぐ」。気持ちに少し余裕が出てきたいま、吉澤さんが自分に言い聞かせていることです。

心を受けとめる。

時には患者さんから不安、苦痛などの感情をぶつけられることもある仕事ですが、それこそが看護師の役割と吉澤さんは受けとめています。「看護師の仕事は、注射など医療行為もありますが、まず患者さんをみる」という吉澤さんが経験から学んだことのひとつが、そのとき表に出された患者さんの言葉や表情をすべてだ

と思わないことです。「思いを引き出すのも看護の技術」と、継続的に、家族とのコミュニケーションを含め様々な面から患者さんを知る努力を惜しみません。「気持ちを押し量り、対応できる看護師でありたい」と、患者さんの体調を見て放射線治療の時間や、食事メニューの対応をお願いしたり、さらに、末期がんの患者さんが緩和病棟よ

り自宅で過ごすことを希望した場合、医療ソーシャルワーカーに調整を依頼する前にじっくりと患者さん、家族の真意を聴くことも吉澤さんたち看護師の役割です。見えるところ、見えないところ、チーム医療の様々な場面で看護師が多彩な役割を担っていることがわかります。

まずはゼネラリスト。

「祖父をがんで亡くしたこと、患者数が非常に多いことから、がん治療を勉強したくて」と就職先として現在の病院を志望した吉澤さん。働き始めて、将来的にがん看護の専門性をもつことにも興味が出てきましたが、目下の目標は多くの科で経験を積むことです。2年目に入り「いまがいちばん勉強できる時」と、資料・文献と、病棟で見る実際の症例を対比させながら積極的に勉強に取り組むようになりました。同時に「私たちが患者さんを見ているように、患者さんも看護師を見ている。体や心の不調は隠しても見抜かれてしまう」と、料理教室やスポーツジムに通い始め、自分磨きも再開しました。時折顔をのぞかせる2年目とは思えない懐の深さは、他者を大切にするために自分を大切に、吉澤ルールにあるのかもしれない。



看護師間のコミュニケーションがよく、情報共有もスムーズ。先輩に何でも相談できる安心感が、患者さんへの笑顔に。



共に国家試験を乗り越え、いまも職場を超えて共感する部分が圧倒的に多い本学のゼミ仲間は「一生の友」。写真は生命基礎科学ゼミ4年次、たご焼きパーティー。右から2人目が吉澤さん。

クラブ

今年もたくさんのクラブが各大会で大健闘!

■2011年度クラブ戦績

団体名	月 日	大会名	参加種目	戦 績
陸上競技部	8/7	第43回 全日本歯科学生総合体育大会	男子やり投	1位(大会新)
			男子円盤投げ	1位
			男子砲丸投げ	1位
			男子1500m	1位
			男子5000m	1位
陸上競技部	8/20~8/21	第70回 全日本歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会	男子やり投	優勝
			女子走幅跳	5位入賞
サッカー部	7/8~7/10	第58回 北海道地区大学体育大会		優勝
バレーボール部	4/10~5/1	第44回 大滝杯北海道大学男女バレーボールリーグ春季大会	女子3部	3位
羽球部	7/9~7/10	第58回 北海道地区大学体育大会	男子	3位
			女子	優勝
ウェイトトレーニング部	5/15	第18回 高校生・ジュニア・マスターズ北海道パワーリフティング選手権大会	男子74kg級	優勝
		第7回 北海道春季ノーギアベンチプレス選手権大会	男子83kg級	2位
	6/10	北海道春季パワーリフティング大会	男子74kg級	3位
剣道部	7/3	第35回 北海道地区剣道優勝大会	男子74kg級	2位(全日本大会出場)
			男子83kg級	優勝(全国大会出場)
剣道部	7/3	第35回 北海道地区剣道優勝大会	団体法形競技	2位
			団体実戦競技	3位
			団体戦	準優勝
柔道部	8/6~8/7	第43回 全日本歯科学生総合体育大会	個人男子 66kg級	準優勝
			個人男子 73kg級	3位
			個人男子 無差別級	優勝
剣道部	8/21	第30回 全日本薬学生剣道大会	男子団体	優勝
			女子団体	3位
			男子個人	2位



全日本歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会(陸上競技部)



全日本薬学生剣道大会(剣道部)



YOSAKOI
ソーラン
祭り部

本学YOSAKOIソーラン祭り部がファイナル進出! 優秀賞受賞!

6月8日(水)から12日(日)までの5日間わたって開催された「第20回YOSAKOIソーラン祭り」において、本学YOSAKOIソーラン祭り部(チーム名「THE☆北海道医療大学」)が見事ファイナル進出を果たし、優秀賞を受賞いたしました。

看護福祉学部看護学科 3年 大橋 咲紀

昨年から新しい体制となり、今年は昨年以上に学生が中心となって演舞を作り上げてきました。その分、今回の演舞に込めた私たち踊り子の想いも強く、多くの感動と演舞の楽しさを感じることができました。今年の本祭は東日本大震災の復興支援を掲げておりましたが、私たちの今回のテーマである「吹きすさべ嵐 想いをひとつに」にもあるように、みんながひとつになることで大きな力になる、ということを伝えられたのではないかと思います。

“第20回YOSAKOIソーラン祭り”という記念の年に、こうして仲間と共にファイナルの舞台へ立てたことをとても嬉しく思います。

それと同時に、私たちの活動を支えてくださいました多くの地元企業や一般企業のみなさま、大学教職員・学生のみなさま、温かく



見守ってくださいました近隣住民のみなさま、さまざまな面でご協力をいただいたOBOGのみなさま、そして、私たちの演舞にご声援いただきましたみなさま、本当にたくさんの方々のご支援・ご協力のもとに、今回の成績を収めることができたことを感じております。YOSAKOIソーラン祭り部一同深く感謝申し上げます。



7/30 平成23年度 学校法人東日本学園後援会支部長会議開催

後援会支部長会議が、平成23年7月30日(土)午後5時より、札幌グランドホテルにおいて開催されました。会議には、三上章会長、川上智史副会長の他、本部役員7名、全国10支部より支部長、副支部長ら14名、事務局より7名が出席しました。

三上会長、川上副会長のご挨拶では、近年の大学を取り巻く少子高齢化という非常に厳しい状況により熾烈を極める学生の確保に対し、これまでの地区別懇談会をはじめとする後援会事業活動からもうひとつ踏み込んだ支援

活動の重要性について触れられ、母校の歴史を未来永劫に引き継いでいくことを目的とした後援会資金及び組織力の有効的な活用をもって、この非常に厳しい世の中の状況を打破し、延いては大学の国家試験合格率の向上に寄与できる事業活動を推進し、学園を側面から支援してまいりたいと述べられました。



会議では、全国10支部の平成22年度支部活動状況、平成23年度事業計画及び予算、被災地出身学生に対する一次帰省費用

補助、東北支部主催医療薬学セミナー、平成24年度入試概要について報告されました。また、支部活動の活性化に向けては、在学生と後援会との繋がりを深めることを目的とした大学祭「九十九祭」においての後援会全国支部による特産品ブース出店、支部周知活動実施の提案等、活発に意見交換されました。

会議後の懇親会には、学園を代表して廣重理事長、新川学長、大野副学長、土産田理事、栗田常務理事、黒澤薬学部長、有末歯学部部長、土肥臨床心理学科長、及川言語聴覚療学科長が出席され、盛会裏に終了しました。



■後援会役員

役職名	氏名
会長	三上 章 (業1期)
副会長	川上 智史 (歯1期)
理事	高岡 和夫 (業6年ご父母)
理事	村上 睦 (業5期、歯6年ご父母)
理事	川村 武昭 (看3期、看同窓会長)
理事	小畑 友希 (福1期、福同窓会長)
理事	伊藤 傑 (言1期、言同窓会長)
理事	田中 稔泰 (業3期、業同窓会長)
理事	菱輪 隆宏 (歯1期、歯同窓会長)
常務理事	小野 正道 (北海道医療大学事務局長)
監事	執行 克明 (歯4年ご父母)
監事	梶 美奈子 (歯2期、歯同窓会長)

■支部役員

地域	役職名	氏名	連絡先
道央	支部長	芦田 眞治(歯4期)	あした歯科医院 011-642-3388
	副支部長	多田 正人(業4期)	医療法人東札幌病院 011-812-2311
道東	支部長	辻 浩人(歯2期)	花園歯科医院 0154-22-3342
	副支部長	高橋 賢(業3期)	(有)たかはし たかはし薬局本部 0154-68-5455
道北	支部長	麻生 明(歯1期)	豊岡歯科医院 0166-32-2002
	副支部長	野田 敏宏(業11期)	(有)十仁薬局 0166-23-6611
道南	支部長	林 則幸(業1期)	八雲総合病院 0137-63-2185
	副支部長	久保田 瑞尚(歯3期)	医療法人社団くぼた歯科医院 0138-32-3232
東北	支部長	川元 裕史(業5期、業1年ご父母)	サングループ 017-764-3131
	副支部長	加藤 伸生(歯4期)	医療法人藤伸会かとう歯科医院 0172-62-6480
関東	支部長	西野 郁郎(業1期)	(有)西野自然堂薬局 0293-42-0239
	副支部長	上田 豊(歯1期)	上田小児歯科クリニック 03-3880-2831
関西	支部長	杉本 雅規(業3期)	(有)すぎもと(いちご薬局) 0761-43-1151
	副支部長	川原 大(歯1期)	川原歯科 06-6991-3188
中四国	支部長	齊田 健一(歯1期)	さいだ歯科医院 0848-48-0014
	副支部長	勝原 聡(業3期)	広島三菱病院 082-291-2104
九州	支部長	藤井 茂仁(歯4期)	医療法人ルミエール歯科 0977-24-8811
	副支部長	高階 豊晴(業3期)	(有)高階誠心堂薬局 0966-22-4633
沖縄	支部長	比嘉 保(業3期)	社会医療法人仁愛会浦添総合病院 098-878-0231
	副支部長	玉城 均(歯1期)	ながた歯科医院 098-854-1182

構成員=平成23年度9月10日現在

EDITOR'S NOTE

あの未曾有の大震災から6カ月が過ぎました。大学でも被災地支援活動を現地で行い、募金活動を行うなど支援をさせていただいております。また、卒業生の方からも、震災に対する支援活動についてのお話をおうかがいする機会もあり、感謝の念に堪えません。さらに、8月には新潟県、福島県で大雨が発生し再び被害を受けました。被災されました皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。このような心痛めるニュースの中、なでこジャパンや高校球児の活躍など元気をくれるニュースも多いような気がいたします。みんなが無心になって応援できるものこそが、今は必要なものなのかもしれません。「日本の未来を強くするために必要なものを表す漢字一文字」の1位に「絆」が選ばれました。今一度、この漢字の意味を深く考えてみたいものです。

(N.H記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.148

STAFF ● 増田 園子 浜上 尚也 安彦 善裕 中山 英二
 鎌口 有秀 志渡 晃一 竹生 礼子 宮家 直明
 榎原 健一 杉原 佳奈 長原 利明 宮崎 隆志
 宮川 雄一 戸藤 成人

発行日 ● 2011年9月16日

編集・発行 ● 北海道医療大学広報・教育事業部 入試広報課
 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
 ☎(0133)22-2113
 http://www.hoku-iryo-u.ac.jp

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしております。
 E-mail:nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp

北海道医療大学の教育理念
 生命の尊厳と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

